

# 太陽光発電海外市場レポート

## 2025/2026年版

### ～ 海外主要市場と産業動向 ～

2026年2月  
株式会社資源総合システム

## はじめに

2025年の世界の太陽光発電システム導入量は、速報値で649GWとなり、前年の601GWを上回る見通しとなりました。中国、欧州、米国、インドなどが市場を牽引し続けています。世界の太陽光発電システム累積導入量は、2022年に1TWを超え、2024年に2TWを超ましたが、2025年末までに2.8TWと3TWが目前に迫る水準に達しました。

2025年の世界市場は、主要市場における政策、制度の変更や、系統連系の遅延、ウクライナ侵攻後の電力料金高騰が落ち着いたことなどを受けて、市場拡大ペースは以前よりも減速しましたが、堅実な伸びとなりました。2026年も市場拡大は緩やかになる見通しです。

パリ協定加盟国は「自国が決定する貢献（NDC）」の目標達成に向けて再生可能エネルギーの普及拡大を促進しています。また、世界の電力需要はAI・デジタル化の拡大により拡大傾向にあり、その大半は太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーによってまかなわれると考えられています。太陽光発電は脱炭素のみならずエネルギーの安定供給の選択肢として、その役割が一層重要となり、世界での導入の潮流は止まりません。2025～2026年は次なる成長に向けた「踊り場」として新たな政策やビジネスモデルを検討・準備していく時期になると考えます。

太陽光発電が各国の基幹電源へ成長していく中で、太陽電池のサプライチェーンについても高い関心が寄せられています。中国は最大の太陽電池生産国として高いシェアを維持していますが、供給過剰による市場の混乱と業界の疲弊を回避するため、業界再編を行う見通しです。一方で、インドや米国はかねてから自国での太陽電池サプライチェーン構築に注力しており、2025年末までに自国の需要を賄える太陽電池モジュールの生産能力を確保するに至りました。今後は結晶シリコン・ウエハーや太陽電池セルなどの産業構築も進む見通しです。また、米国の関税政策や、欧州連合（EU）のネットゼロ産業法（NZIA）に基づく入札要件の変更は、世界の太陽電池サプライチェーンにも大きな影響を与える見通しで、中東、アフリカにおける工場設立計画も増加しています。

本書は、海外の主要国と新興国の太陽光発電システム市場、ならびに産業の現状と見通しをまとめたものです。太陽光発電システムの市場規模、普及支援施策、プロジェクトの状況、将来展望等を網羅しております。太陽電池をめぐる国際貿易摩擦やサプライチェーンの動向についての解説も加えました。

本書が皆様の海外市場における太陽光発電事業の展開の一助となれば幸いに存じます。

2026年2月  
株式会社資源総合システム  
代表取締役 一木 修

# 太陽光発電海外市場レポート2025/2026年版～海外主要市場と産業動向～

## 目次

### 世界全体の導入推移と見通し

1 世界の太陽光発電システム導入推移と見通し	1
2 地域別導入推移と見通し（BAUシナリオ）	2
3 地域別導入推移と見通し（加速シナリオ）	3

### 太陽電池を巡る貿易摩擦の動向

1 太陽電池を巡る貿易摩擦の概況	1
2 米国を巡る貿易摩擦	2
3 中国を巡る貿易摩擦	
4 インドを巡る貿易摩擦	
5 欧州連合（EU）を巡る貿易摩擦	
6 トルコを巡る貿易摩擦	
7 カナダを巡る貿易摩擦	
8 その他の国を巡る貿易摩擦	

### 太陽電池産業のサプライチェーンの動向

1 概況	1
2 太陽電池製品のサプライチェーン	2
3 人権問題との関わり	4
4 今後の見通し	8

### アジア・オセアニアにおける太陽光発電システム市場

1 概況	1
2 中国	
3 インド	

4 パキスタン	
5 韓国	
6 オーストラリア	
7 台湾	
8 ウズベキスタン	
9 マレーシア	
10 フィリピン	
11 シンガポール	
12 タイ	

### 米州における太陽光発電システム市場

1 概況	1
2 米国	
3 ブラジル	
4 チリ	
5 メキシコ	

### 欧州における太陽光発電システム市場

1 概況	1
2 欧州連合（EU）	
3 ドイツ	
4 スペイン	
5 イタリア	
6 フランス	
7 ポーランド	

8 オランダ	.....
9 ギリシャ	.....
10 英国	.....

#### 中東における太陽光発電システム市場

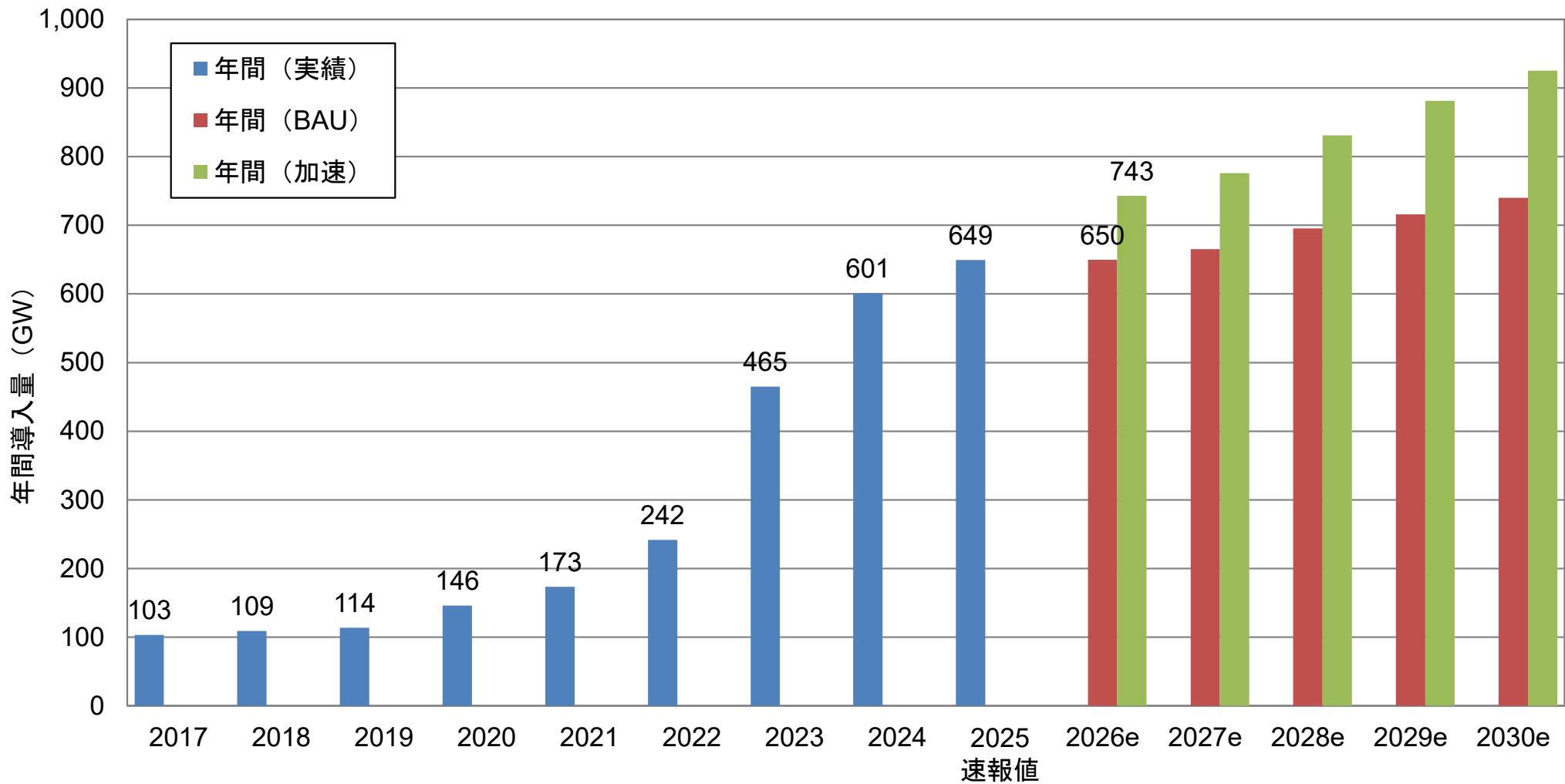
1 概況	.....	1
2 トルコ	.....	
3 サウジアラビア	.....	
4 イスラエル	.....	

#### アフリカにおける太陽光発電システム市場

1 概況 世界銀行のScaling Solarなどの支援	.....	1
2 概況 独立形	.....	
3 南アフリカ	.....	
4 エジプト	.....	
5 チュニジア	.....	

# 世界全体の導入推移と見通し

## 1 世界の太陽光発電システム導入推移と見通し



- 2025年の太陽光発電の導入量（DCベース）は、中国、インド市場が成長し計649GW
- 2026年の導入量は650～743GWと見通す。中国、インド市場が引き続き成長し、米国と欧州市場は堅調に推移する見通し
- アフリカや東南アジアなど新興国での導入が加速
- 2026年は中国製太陽電池製品が値上がりする見通し。大幅に上昇する場合には新興国での導入に影響する可能性有り

# 主要市場の見通し



**中国**：2035年までに太陽光発電と風力発電の累積導入量を2020年の6倍以上、3.6TWにする目標を発表。＊＊＊＊＊



**欧州**：ロシアのウクライナ侵攻を契機とした再エネの導入ブームは落ち着き、市場拡大のペースは減速している。＊＊＊＊＊



**米国**：第2次トランプ政権下で再エネ政策は大きく転換された。＊＊＊＊＊



**インド**：人口増により電力需要が拡大しており、需要拡大分は再生可能エネルギーで賄う方針。＊＊＊＊



**その他の地域**：パキスタンは2024～2025年に太陽光発電システムの導入が急増した＊＊＊＊＊



etc.

## 2 太陽電池製品のサプライチェーン 太陽電池モジュールのフロー



2025年1月～10月  
輸入総額 \*\*\*億\*\*\*\*万ユーロ

EUの輸入元国 TOP5 (2025年1～10月)	シェア (%)
中国	***%
ベトナム	***%
シンガポール	***%
マレーシア	***%
米国	***%

※EU域内の取引は除いて集計



2025年1月～11月  
輸出総額 \*\*\*億\*\*\*\*万ドル

中国からの輸出先国 TOP5 (2025年1～11月)	シェア (%)
EU27ヶ国	***%
パキスタン	***%
ブラジル	***%
インド	***%
アラブ首長国連邦 (UAE)	***%



2025年1月～9月  
輸入総額 \*\*\*億\*\*\*\*万ドル

米国の輸入元国 TOP5 (2025年1～9月)	シェア (%)
インドネシア	***%
ラオス	***%
インド	***%
ベトナム	***%
マレーシア	***%



2025年1月～10月  
輸入総額 \*\*\*億\*\*\*\*万ドル

インドの輸入元国 TOP5 (2025年1～10月)	シェア (%)
中国	***%
ベトナム	***%
香港	***%
マレーシア	***%
米国	***%

米国は貿易摩擦とウイグル強制労働防止法 (UFLPA) による輸入規制により、中国からの太陽電池を直接輸入することは困難

2025年は貿易摩擦の影響を受けにくいインドネシア、ラオス、インドからの輸入が増加

## 1 概況 (6/6)

## メキシコ

- ・2030年までに新設する電源6.4～9.55GWのうち96%を太陽光発電と風力発電にする計画
  - ・蓄電システムの導入も拡大予定

## ホンジュラス

- ・2025年の電源調達入札では募集容量1.5GWのうち65%を再生可能エネルギーにする計画

## コロンビア

- ・再生可能エネルギー普及のボトルネックを解消する19の政策を実施すると発表
  - ・規制緩和、エネルギー・コミュニティ支援などを実施

## エクアドル

- ・エネルギー危機への対策に再生可能エネルギーを活用する方針

ペル

- ・2025年4月時点で14件・計2.5GWの太陽光発電プロジェクト開発が計画中
  - ・電力会社のInkia Energyは、2025年に1GW超の太陽光発電システムを新設する目標

チリ

- ・2050年導入目標：20GW
  - ・2025年10月時点で19.9GWの太陽光発電プロジェクトが開発中
  - ・出力抑制の増加が課題で、蓄電システムの導入が増加

## グアテマラ

- ・再生可能エネルギーおよび低炭素エネルギー入札  
(募集容量1.4GW) を実施予定 (2025年4月)

## キューバ

- ・2028年までに92件・2GWの太陽光発電プロジェクトを開発する計画
  - ・2025年3月に6件・計130.8MW（各21.8MW）の太陽光発電プロジェクトが完成

## ドミニカ共和国

- ・独立形の導入、設備補助、所得税控除等を実施
  - ・600MW以下の風力・太陽光発電プロジェクト入札を実施（2025年）、BESSの併設が必須

## グレナダ

- ・国際空港に15.1MWの太陽光発電システムを設置する入札を実施（2024年）

## ガイアナ

- ・ネットビーリング制度を開始（2025年6月）
  - ・先住民居住区などへのソーラー・ホーム・システム（SHS）普及プロジェクトを実施

## ブラジル

- ・2025年4月からモジュールの関税率が25%に引き上げられたため、輸入が減速
  - ・2025年は導入量がやや減少する可能性あり

## ウルグアイ

- ・「グリーン水素ロードマップ」草案で、2040年までに10GWのグリーン水素の電解槽と20GWの再生可能エネルギーの導入を目指す方針を表明

## アルゼンチン

- ・再生可能エネルギー入札「RenMDI」を実施
  - ・ネットメタリング制度の適用枠、対象を拡大（2024年）
  - ・2025年にはBESS入札を実施、667MWを選定

# 基礎情報

項目	データ																		
人口																			
国土面積																			
GDP																			
電源容量																			
電力消費量																			
平均的な電力料金																			
発電量ミックス (2024年)	<table border="1"> <tr> <td>石油</td> <td>天然ガス</td> <td>石炭</td> <td>原子力</td> <td>水力</td> <td>風力</td> <td>太陽光</td> <td>その他再エネ</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>1.4%</td> <td>6.5%</td> <td>2.2%</td> <td>2.1%</td> <td>55.4%</td> <td>14.6%</td> <td>9.6%</td> <td>7.8%</td> <td>0.4%</td> </tr> </table>	石油	天然ガス	石炭	原子力	水力	風力	太陽光	その他再エネ	その他	1.4%	6.5%	2.2%	2.1%	55.4%	14.6%	9.6%	7.8%	0.4%
石油	天然ガス	石炭	原子力	水力	風力	太陽光	その他再エネ	その他											
1.4%	6.5%	2.2%	2.1%	55.4%	14.6%	9.6%	7.8%	0.4%											
ネットゼロ目標																			
国が決定する貢献 (NDC)																			
再生可能エネルギー・システム導入目標																			
再生可能エネルギー・システム導入量																			
太陽光発電システム導入目標																			
太陽光発電システム導入量	<p>各国の基礎情報、 排出量削減や再生可能エネルギー・システム導入目標などをまとめて います。</p>																		
等価システム稼働時間																			

# 太陽光発電普及施策の概要

主導機関				
政策目標				
主な支援施策	電力事業用	入札制度		
	業務用・住宅用	ネットメタリング制度		
		低利融資		
		その他		
	その他	税制優遇		
		その他		

各国で再生可能エネルギー普及を主導する機関、  
政策の概要を一覧にし、重要な政策については  
後続のページで詳細に解説しています

# **太陽光発電海外市場レポート 2025 / 2026 年版**

## **～海外主要市場と産業動向～**

2026 年 2 月 第 1 版 発行  
**製作・発行 株式会社 資源総合システム**  
**製作・発行責任者 一木 修**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3 丁目 19 番 2 号 キュアス八丁堀 第一ビル 4 階  
Tel: 03 - 3551 - 6345 Fax: 03 - 3553 - 8954  
E- mail: [info@rts-pv.com](mailto:info@rts-pv.com)

© 株式会社資源総合システム 2026  
Copyright © 2026 RTS Corporation  
本書の無断複写・複製、無断転載を禁止します。